



LANSCOPE エンドポイントマネージャー  
クラウド版  
セキュリティホワイトペーパー

1.3 版

エムオーテックス株式会社

## 1 利用者との責任分界点

---

### エムオーテックス株式会社の責任

エムオーテックス株式会社は、以下のセキュリティ対策を実施します。

- 本サービスのセキュリティ対策
- 本サービスに保管された利用者データの保護
- 本サービスの提供に利用するミドルウェア、OS、その他インフラのセキュリティ対策

### 利用者の責任

利用者は、以下のセキュリティ対策を実施する必要があります。

- 各利用者に付与されたパスワードの適切な管理
- アカウントの適切な管理（登録、削除、組織管理者権限の付与など）
- 利用者が本サービスの利用によって取得する情報(インベントリ情報、位置情報、操作ログ情報等)のバックアップ

## 2 データ保管場所

---

本サービスが利用者から取得したデータは、日本国内のデータセンターに保管されます。

## 3 データの削除

---

本サービスの利用に関する契約が終了した場合、利用者による本サービスの利用終了日の翌日より 90 日後に、利用者から取得したデータは完全に消去されます。ただし、クラウドサービス派生データ（アプリケーションログ、システムへのアクセスログ、バックアップデータ）に関しては本項の定めによらず、別項にて定める期間まで保管されます。また、利用者及び利用者に所属する個人を特定できないよう適切な処置（個人情報に該当しないよう適切に当該情報を加工すること）を行った上で、本サービス若しくはこれに関連するサービスまたはエムオーテックス株式会社の事業運営上必要な範囲において利用（統計資料の作成、及び当該事業に必要な範囲において第三者に提供することを含みます）するデータに関しては削除の対象外とします。

## 4 ラベル付け機能

利用者は、登録したデバイスの管理情報（デバイス管理名やユーザー名、デバイスグループなど）を変更することが可能です。

【操作手順書】

[https://tryweb2.motex.co.jp/an/manual/common/ConsoleGuide\\_JA/all/ConsoleGuide/list\\_010\\_040.html](https://tryweb2.motex.co.jp/an/manual/common/ConsoleGuide_JA/all/ConsoleGuide/list_010_040.html)

- デバイス情報を1台ずつ編集する
- デバイス情報を一括で編集する

利用者は、登録したデバイスを利用者自ら追加したデバイスグループにグルーピングすることが可能です。

【操作手順書】

[https://tryweb2.motex.co.jp/an/manual/common/ConsoleGuide\\_JA/all/ConsoleGuide/env\\_010\\_010.html](https://tryweb2.motex.co.jp/an/manual/common/ConsoleGuide_JA/all/ConsoleGuide/env_010_010.html)

- グループを手動で設定する
- グループを一括で設定する
- グループを編集する
- グループを削除する

## 5 利用者登録および削除

利用者は、契約の範囲内において、アカウントの登録・削除を行うことが可能です。

【操作手順書】

[https://tryweb2.motex.co.jp/an/manual/common/ConsoleGuide\\_JA/all/ConsoleGuide/list\\_070\\_020.html](https://tryweb2.motex.co.jp/an/manual/common/ConsoleGuide_JA/all/ConsoleGuide/list_070_020.html)

- アカウントを追加する
- アカウント情報を編集する
- アカウントを削除する

## 6 アクセス権の管理

利用者は、登録したアカウントの権限を、切り替えることができます。システム管理者権限を付与することで、各種機能の管理コンソールにアクセスすることが可能です。

【操作手順書】

[https://tryweb2.motex.co.jp/an/manual/common/ConsoleGuide\\_JA/all/ConsoleGuide/list\\_070\\_030.html](https://tryweb2.motex.co.jp/an/manual/common/ConsoleGuide_JA/all/ConsoleGuide/list_070_030.html)

- ロールを追加する
- ロール情報を編集する
- ロールを削除する

## 7 パスワードの配布方法

新規に登録したアカウントの初期パスワードは、アカウントとして設定するメールアドレス宛にメール送信することが可能です。

【操作手順書】

[https://tryweb2.motex.co.jp/an/manual/common/ConsoleGuide\\_JA/all/ConsoleGuide/list\\_070\\_020.html](https://tryweb2.motex.co.jp/an/manual/common/ConsoleGuide_JA/all/ConsoleGuide/list_070_020.html)

- アカウントを追加する（「アカウント情報をメールで送信する」参照）

アカウントのパスワードを忘れた場合、パスワードの再設定を行うことが可能です。

【操作手順書】

[https://tryweb2.motex.co.jp/an/manual/common/ConsoleGuide\\_JA/all/ConsoleGuide/use\\_030.html](https://tryweb2.motex.co.jp/an/manual/common/ConsoleGuide_JA/all/ConsoleGuide/use_030.html)

- 管理コンソールにログインする（「2. [パスワードの設定はこちら] をクリックします。」参照）

## 8 暗号化の状況

- ストレージに保管される、個人情報を含む各種利用者情報（利用者が本サービスの利用によって取得するインベントリ情報、位置情報、操作ログ情報を含む）は、暗号化(AES256bit)され、適切なアクセス権のもとで保管されます。
- 利用者のデバイスと、システムとの間のインターネット通信は、SSL/TLS 通信（TLS v 1.0 以上）によって暗号化されます。

## 9 IPv6 への対応状況

- 本サービスのネットワークエンドポイントは IPv4 にて運用しています。
- NTT ドコモの Android 端末について、IPv6 シングルスタック環境の管理対象端末からのデータ収集、及び、管理コンソールからの対象端末の閲覧・管理ともに、利用に支障がないことを確認しています。
- Windows 端末については、IPv6 シングルスタック環境ではデータ収集が行えません。
- それ以外の回線・OS については、一般的な IPv6 シングルスタック環境より NAT64 等を経由してのアクセスであれば、利用いただける可能性はありますが、個別のネットワーク環境に関しては動作保証しません。
- IPv6 環境において、資産情報としての IP アドレス、及び、操作ログの項目としての IP アドレスの取得・閲覧に関しては動作保証しません。
- 管理コンソールの IP アドレス制限機能では、IPv4 アドレスのみ許可対象に設定することが可能です。

## 10 変更管理

---

- メンテナンスに関する情報は、緊急の場合を除き、下記のタイミングでユーザーページへの告知、および管理コンソールへの通知にて連絡します。
  - サービス停止が伴うメンテナンス：1週間前
  - サービス停止が伴わないメンテナンス（※）：3日前  
※LANSCOPE クライアントのバージョンアップを伴う場合
- サービスに新機能追加等のバージョンアップが実施された場合、ユーザーページへの告知および、管理コンソールへの通知にて連絡します。

## 11 手順書の提供

---

利用できるサービスの操作手順は、ユーザーサイト(LANSCOPE PORTAL)のオンラインマニュアルより確認できます。

## 12 バックアップの状況

---

- インベントリ情報は、1日1回バックアップを取得しています。バックアップは1週間保管されます。なお一部の情報は、1世代のみで管理しています。
- 位置情報、操作ログ情報、その他設定情報は、35日間の増分バックアップを取得しています。
- 利用者の操作ミス等に起因するデータの削除によるバックアップデータの復元等に関する要望は受け付けていません。

## 13 ログのクロックに関する情報

---

- サービス内で記録されるログは、タイムゾーン JST(UTC+9)で記録されます。
- ログの時間は、AWS が提供する NTP サービスと同期しています。

## 14 脆弱性管理に関する情報

---

- エムオーテックス株式会社は、システムで利用している OS、ミドルウェア等に関する脆弱性情報を、定期的に収集しています。
- システムで利用しているコンポーネントに対する脆弱性パッチが公開された場合、テスト環境での検証を経た後、速やかにパッチを適用します。

## 15 開発におけるセキュリティ情報

---

- エムオーテックス株式会社のシステム開発は、AWS が定めるベストプラクティスおよび社内ですられたコーディング規約に従って実施します。

## 16 インシデント発生時の対応

---

- エムオーテックス 株式会社が発行領域は、本セキュリティホワイトペーパー「利用者との責任分界点」に準ずるものとします。
- 利用者に大きな影響を与えるセキュリティインシデント(データの消失、長時間のシステム停止等)が発生した場合、エムオーテックス株式会社の社内対応規程に基づき、事象の検知後 4 時間以内を目標に、サービス登録時に当社へ提供された利用者の連絡先へ、メールもしくは電話にて連絡します。また、ユーザーページへの告知と管理コンソールへの通知にて、合わせて連絡します。
- 利用者に開示するインシデントの内容は、インシデント事象の内容、発生期間、原因、事象を回避する方法、当社で実施した対策 とします。
- 情報セキュリティインシデントに関する問合せは、本セキュリティホワイトペーパー末尾の「エムオーテックス株式会社 サポートセンター」窓口より受け付けています。

## 17 利用者データの保護及び第三者提供について

---

- 利用者から預かったデータを適切に保護することは、エムオーテックス株式会社の責任です。
- 利用者が本サービスの利用によって取得する情報（インベントリ情報、位置情報、操作ログ情報等）については、不正なアクセスや改ざんを防ぐため、当社開発チームの一部の人間しかアクセスできない、限られたアクセス権のもとで保管されます。また、利用者情報へのアクセスが発生する場合、アクセス結果はアクセスログとして記録されます。
- サービスによる利用者データへのアクセスは、アプリケーションログとして記録しております。
- 裁判所からの証拠提出命令など、法的に認められた形で利用者データの提供を要請された場合、当社は利用者の許可なく、必要最小限の範囲で、利用者データへのアクセスログおよびアプリケーションログを含む利用者データを外部に提供する可能性があります。
- システムへのアクセスログおよびアプリケーションログに関しては、当社開発チームにおける製品運用上の調査目的として取得しております。製品機能上で閲覧可能な項目を除き、利用者へ個別のログ提供は行いません。  
但し、利用者より開示要求があった場合、ログが利用者による操作から発生したものであることが当社にて断定できる場合に限り、開示要求に関連する項目に限定されるよう加工したうえで、アクセスログおよびアプリケーションログの一部を提供する場合があります。
- アクセスログは 365 日間保管されます。

- アプリケーションログは 90 日間保管されます。

## 18 適用法令

- 利用者とエムオーテックス株式会社との間の契約は、日本法に基づいて解釈されるものとします。
- 個人情報の取扱いに関する法令、指針やその他の規範の特定、順守については情報マネジメントシステム認証センター(ISMS-AC)が運営する、JIS Q 27017 (ISO/IEC27017) について第三者による審査を受け、認証を取得していることで、取り組みの証憑としています。

## 19 情報セキュリティの独立したレビュー

エムオーテックス株式会社では、定期的に内部監査を実施しています。監査では、独立した立場の監査員によって、当文書を含む社内のポリシーに、本サービスが適合しているかのチェックが実施されており、問題が発見された場合には、速やかに改善を行っています。

- エムオーテックス株式会社は、情報マネジメントシステム認定センター(ISMS-AC)が運営する、ISMS 適合性評価制度における、ISMS 認証<sup>1</sup>を取得しています。
- エムオーテックス株式会社は、情報マネジメントシステム認定センター(ISMS-AC)が運営する、ISMS 適合性評価制度における、ISMS クラウドセキュリティ認証を取得しています。

### 【ISMS クラウドセキュリティ認証登録範囲】

- LANSCOPE エンドポイントマネージャー クラウド版の提供に係るクラウドサービスプロバイダとしてのシステム運用・保守、及び Amazon Web Services のクラウドサービスカスタマとしての利用に係る ISMS クラウドセキュリティマネジメントシステム

## 20 外部クラウドサービスの利用

- 本サービスでは、次に示す機能を運用するために、外部のクラウドサービスを利用しています。

クラウドサービス	機能	運営会社	情報
AWS	インフラ構築、運用	Amazon Web Services, Inc.	デバイスのインベントリ情報, 位置情報, 操作ログ情報 等
モバイルデバイス管理 (MDM)	iOS/Mac デバイスの管理 (デバイス情報の取得、リモート)	Apple Inc.	デバイス識別子, MAC アドレス, IP アドレス 等

<sup>1</sup> <https://isms.jp/lst/ind/>

	ロック/ワイプ、アプリ配信 等)		
モバイルデバイス管理 (MDM)	Android Enterprise デバイスの管理 (デバイス情報の取得、リモートロック/ワイプ、アプリ配信 等)	Google LLC	デバイス識別子, MAC アドレス, IP アドレス 等
Bing Maps	位置情報の表示	Microsoft Corporation	デバイスの位置情報
Exchange Online	メールの送信	Microsoft Corporation	-
Auth0	ログイン認証、パスワード管理	Okta Inc.	管理コンソールのアカウント、パスワード



## 改訂履歴

版	改訂日	改訂内容
1.0	2021/11/22	初版発行
1.1	2022/1/28	クラウドサービス派生データの保存期間に関する情報を追加 インシデント発生時の通知目標時間に関する情報を追加 アプリケーションログの取得内容に関する情報を追加 アプリケーションログ及びアクセスログの保管期間に関する情報を追加
1.2	2022/8/23	適用法令に法的要求事項順守に関する情報を追加 インシデント発生時の対応に関する情報を追加 IPv6 への対応状況に関する情報を追加 ISMS クラウドセキュリティ認証を取得している旨追加
1.3	2023/1/11	製品の名称変更に伴い、製品名記載を変更 IPv6 への対応状況に関して追記、表現を修正 外部クラウドサービスの利用に関する情報を追加、修正 ISMS クラウドセキュリティ認証登録範囲を更新 商標・登録商標についての情報を追加

## 商標・登録商標について

本書で使用される各社の社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

## 本資料に関するお問い合わせ

エムオーテックス株式会社 サポートセンター  
 電話：0120-968995（固定電話） / 06-6308-8981（携帯電話・PHS）  
 メール：support@motex.co.jp

- MOTEX はエムオーテックス株式会社の略称です。